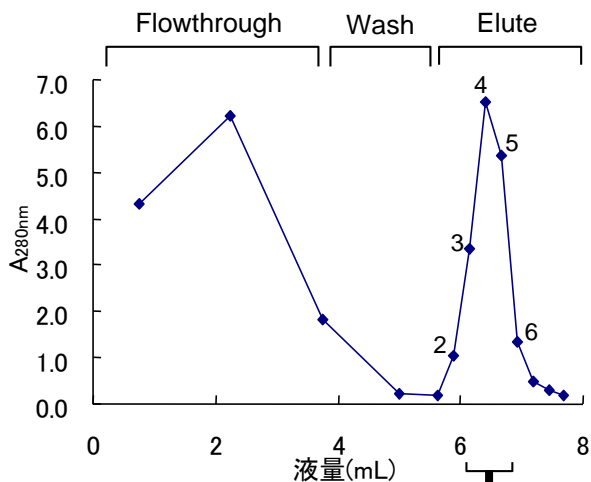


# Ab-Rapid PuRe™ による マウスモノクローナルIgG1のワンステップ精製

## 精製条件

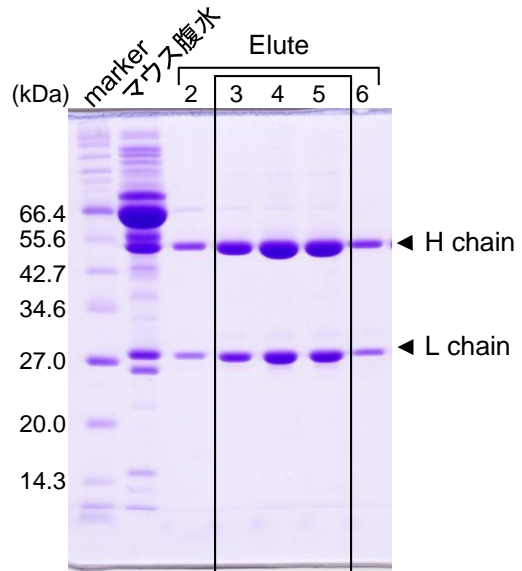
カラム: Ab-Rapid PuRe (0.5 mL gel)  
 サンプル: マウス腹水1 mL (結合bufferにて3倍希釈)  
 結合buffer: PBS  
 溶出buffer: 0.1 M Glycine-HCl, pH 2.8  
 流速: 約1 mL/min(サンプル添加時)、約2.5 mL/min(その他)  
 溶出画分分取: 0.25 mL/Fr.  
 送液はシリンジを使用

## タンパク質分離パターン



マウス腹水1 mLから  
モノクローナルIgG1 2.8 mg を精製

## 精製したIgG1画分の分析



### SDS-PAGE

サンプル: マウスIgG1溶出画分 1 μl  
 ゲル: 12.5 % (Tris-Glycine)  
 染色: CBB

マウス腹水をPBSで希釈し、結合bufferにて平衡化したAb-Rapid PuReカラムに直接添加し結合させた。結合bufferにてカラムを洗浄後、溶出bufferにてマウスIgG1を溶出させ、0.25 mLずつ回収した。カラム平衡化から抗体溶出までの所要時間は15分であった。溶出画分のタンパク量を測定したところ、マウス腹水1 mLからマウスモノクローナルIgG1 2.8 mgを精製できた。さらに SDS-PAGE による純度チェックを行ったところ、夾雑物は見られなかった。

以上の結果より、Ab-Rapid PuReカラムは短時間で腹水から多くの高純度マウスIgG1 を精製できることがわかった。

## プロテノバ株式会社

〒769-2604  
 香川県東かがわ市西村1488番地1  
 TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703  
 ホームページ <http://protenova.com>